

平成28年度 同好会事業報告

上高井の総合的な学習を考える会 同好会 世話係名 櫻井 清志 会長名 牛丸 紗江

月 日	実施した事業内容	参加人員
8月2日	夏期同好会	12人

「上高井の総合的な学習を考える会」の夏期研修会は、日野小学校を会場に、12名の参加者で行われました。今年度は、「生活・総合の引き出しを増やそう」ということで、教師自らが経験し、考えることができる活動として、太鼓作り・火起こし・いずみの里でのザリガニ釣りを計画しました。

太鼓作りは、ダンボールを使ったり、缶を使ったりと、活用できる材はいろいろ考えることができますが、今回は、より本物の太鼓に近づけるために、牛皮を使った太鼓作りに挑戦しました。市販のドッグフードの骨ガムと、フリスビー型の骨ガムの二種類の牛皮を用意し、一晩水に浸し、缶に張っていきました。しかし、皮を張ることは意外と難しく、「どうすれば上手く張ることができるのか」「どこを押さえれば張りやすいのか」「どんな道具を使えば効率よく張ることができるのか」等について、試行錯誤を重ねながら感じ取っていきました。できあがった太鼓のほとんどは、片側に皮を張るのが精一杯だったのですが、中には両側に張ることができたものもあり、片側と両側の音の違いも楽しむことができました。

ザリガニ釣りは、確かにそこにいるはずなのに、いざ釣り始めるとなかなか釣れない状況が続きました。そのうち、どこからか「釣れた！」という声が聞こえてくると、思わずその場に移動してくる先生がいる一方で、それまで釣っていた場所を一步も動こうとしない先生もいました。実際に自分が釣ってみることで、子どもたちが抱くであろう「こだわり」や「思い」がどんな姿で現れてくるのか、少し思い描くことができたような気がしました。

今回の研修会を通して、教師が実際に材に触れ、楽しむことは、一人一人の子どもたちの願いや思いをより感じることに繋がっていくのだということを実感することができました。これからも、子どもたちと共に活動に取り組みながら、生活・総合の引き出しを増やしていきたいと思えます。

(会長 牛丸 紗江)